

建設産業委員会会議録

平成 26 年 7 月 28 日 (月)

午前 9 時 30 分 開会

○榊原伸行委員長

只今から建設産業委員会を開会します。

本日の協議題に入ります。県外視察について行います。お手元の資料に行程表がありますので、事務局に説明させます。

○事務局

【資料（行程表）に基づき説明】

○榊原伸行委員長

行程表につきましては、以上で終わります。次に視察先の質問等整理をします。副委員長から説明をします。

○中川健一副委員長

まず、長浜まちづくり株式会社につきましては吉井さんに来ていただいていますので、勉強会のレジュメはみなさんの手元にあると思います。当日はレジュメに従って具体的に現場を見ながら、説明をしていただく予定です。勉強会である程度の事前勉強はできていると思います。

【発言するものあり】

○中川健一副委員長

次に倉敷市ですが、前回配りました建築工房の資料を説明させていただきます。

○榊原伸行委員長

暫く休憩します。

休憩 午前 9 時 33 分

再開 午前 9 時 35 分

○榊原伸行委員長

委員会を再開します。

○中川健一副委員長

【資料（建築工房、福山本通商店街）に基づき説明】

○榊原伸行委員長

暫く休憩します。

休憩 午前 10 時 20 分

再開 午前 10 時 28 分

○榊原伸行委員長

委員会を再開します。先ほど説明のありました視察先について質問事項をまとめたいと思います。倉敷市から行います。

○小出義一委員

景観を重視しているということで、歴史と関連があると思います。文化財として指定している件数がどれくらいあって、保護に対する考え方をお聞きしたい。また、その際、歴史性

がどのような位置づけとなっているのかも聞きたい。

地図をみると道に沿って広く長くエリア指定されていますが、活性化する為の規模、ねらいもあると思いますが、観光という考えがあれば、集客していく為にどれくらいの規模がいるのかも聞きたいです。

○鈴木好美委員

小出委員と同じ所もありますが、1点目は歴史、街並み、産業、伝統どれをメインにまちづくりをしているのか。2点目に市民の方、町内会や自治体が一定の負担をしたとあるがいくらか、また行政がいくら使ったか。3点目はまちの特徴。歴史とか文化とかそういうことではなく、何を特性にしたのか。4点目に事業実施のメリット、デメリット。また、1回きりという訳ではないですが、店は開いたけれどもつぶれて他の店が入る、ということがあるのかないのか。

○沢田清委員

倉敷におけるそもそもの課題が何であったか、その課題に対し何から手を付けたのかを聞きたいです。

○岩田玲子委員

石畳と水の流れる風景はとても素晴らしいと思いますが、どのようにそういった街並みが作られていったのか。どのように作ったらいいのか。を聞きたいです。

○新美保博委員

倉敷市に聞く話は、市民に負担を求めてやっている点があるとするならば、みんながそこまで協力してでもまちづくりをしようとなったのなら、ぜひ話を聞きたい。みなさんの質問にケチをつけるわけではありませんが、倉敷市には倉敷市の考えがあってやっていることだからそれを聞いて何になるのか。半田市は半田市でやっているのだから、どこでなにをやろうがいいという思いがあります。倉敷市は自分たちがやるのか。市民に任せるのか。どういうスタンスを作り上げたのか。倉敷市都市計画課が先頭に立ってやってきたのか。地元の方を公募で集めて市民にやらしてもらえばいい、というやり方なのか。お任せばかりでいいのか。その中で出てきた負担金という話はおもしろいと思う。

○榊原市民経済部長

行政としてどんな役割があったのか。補助金の関係、まちづくりの組織について聞きたいです。

○榊原伸行委員長

今挙がりました倉敷市の質問事項については正副委員長でまとめて先方に提出させていただきます。それでよろしいでしょうか。

○新美保博委員

いいと思いますが、結局倉敷市でどんな話が聞けるかだと思います。データはもらえばいい話。考え方のキャッチボールは必ず合わない。倉敷市の考え方が半田市でどういかにせるかを考える。その活かし方が呑み込めずに聞く話は大いにしてもらわなければならない。

○榊原伸行委員長

活かし方を聞くというところが基本的な考え方だとは思いますが。倉敷市に提出期限が迫っ

ていますので、委員会が終わり次第正副でまとめて提出いたしますのでよろしくお願いいたします。

次に長浜まちづくり株式会社に移ります。

○新美保博委員

長浜はこの前の勉強会でアウトラインは掴めています。吉井さんが頑張っており、半田でどう吉井さんのような人を育てるのか、探すのか。また、長浜が未だに右肩上がりなのか、下降気味で対策を打つなどしているのか。高い補助金をもらって1年で終わってしまうよりも継続していくか、どちらをとるかというのものもある。みんな、長浜へは行ったことがあると思う。例えば3年前に行った人が今度行ったときに、3年前と比べてどうなのかを見てもらってもいいと思う。

○中川健一副委員長

まちづくり会社が不動産を取得した時に、いろいろ国から補助金がでていますが、具体的にどういうスキームででていいのか。そういったことも聞いていきたいです。

○沢田清委員

実際に行政でできるのか、行政ではできないことをしているのか。も聞きたいです。

【発言するものあり】

○小出義一委員

吉井さんが見えたときに、高齢化に歯止めがかかっておらず、人口も増えていないというお話でした。シェアハウス以外にそういう政策に取り組んでいたらそういうことも聞きたいと思います。

【発言するものあり】

○榊原伸行委員長

次に榊村徹先生についてです。

【発言するものあり】

○中川健一副委員長

建築士をどうまちづくりに巻き込んだのかを聞きたいです。

○新美保博委員

羨望による妨害行為とはどのようなものはあったのかを聞きたい。

○榊原市民経済部長

大原構想とういうので、魅力的な街を継続していくには、歴史を大切に保存することも大事だが、常に改革を考え、新しい文化を付加していくことが大切と言っています。どうやって改革をしてどうやって付加したのかを聞きたいと思います。

また、基本的には収支を聞きたい。どうやってお金を設けて、若い人を雇って、どうやって支払いしているのか。

○榊原伸行委員長

福山本通商店街に移ります。

○新美保博委員

ここも今過渡期だよ。いろんな社会実験をやっているところだから、それを半田がやる

のか、やらないのか。そのスタンス。そんな余裕が今の半田にあるのかな。スタートしたら継続可能な事業を聞きたい。

○沢田清委員

いくつかの事業を打つ中で、継続して実施できる事業を見つけようとしているのか、毎回別のことをやれば良いと思っているのかを聞きたい。最終的な目的はどこにあるのか。

○榊原市民経済部長

まず、公募の仕方と、市の若手を集めて実施する方法を選択した理由。また、イベントに誰が関わっているのかを聞きたいと思います。

○榊原伸行委員長

それでは以上で質疑のとりまとめを終わりますが、一つ私から報告があります。予算の流用と関係あるところですが、長浜まちづくり株式会社と、榊村徹設計事務所での視察に費用がかかります。長浜が1人あたり1,000円。榊村徹先生は現在交渉中ですが、3万円程度かかる予定です。この費用は大変申し訳ありませんが委員で折半して支払いたと思います、いかがでしょうか。

暫く休憩します。

休憩 午前11時05分

再開 午前11時10分

○榊原伸行委員長

再開します。視察先の負担金、謝金は委員で折半していきますのでよろしく願いいたします。

【「はい」との声あり】

○新美保博委員

確認しますが、これは明確に決まっていないからということでしょうか。

○榊原伸行委員長

そうです。

暫く休憩します。

休憩 午前11時11分

再開 午前11時20分

○榊原伸行委員長

次に移ります。今後の委員会の日程調整をします。視察後のレポートの提出期限を8月13日午後3時までとします。ひな形は追って事務局からメールします。

9月に我々は提言をしていきたいと考えますので、視察後のまとめとして8月18日月曜日午前中に行いたいと思います。また、事業評価の事業選定も含めて予備として8月20日午後1時から3時も予定をしておいていただきたいと思います。

また、事業評価の分科会を10月3日、10月6日、10月9日の午前9時30分から午後5時まで、3日間で行いたいと思います。

暫く休憩します。

休憩 午前11時25分

再開 午前 11 時 26 分

○榊原伸行委員長

それでは、さきほどの提案でよろしいでしょうか。

【「はい」との声あり】

○榊原伸行委員長

本日の議事はすべて終了しました。以上で委員会を閉会します。

閉会 午前 11 時 28 分